BOSE®

OWNER'S MANUAL

Portable Sound System

PD-150

この度はPD-150をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管されるようおすすめいたします。

PD-150 取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは原型と異なることがあります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。
以下の内容に反した使用により損害が発生した場合、当社は責任を負いかねます。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⚠ △記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠ ⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです（左図の場合は分解禁止を意味します）。

● ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

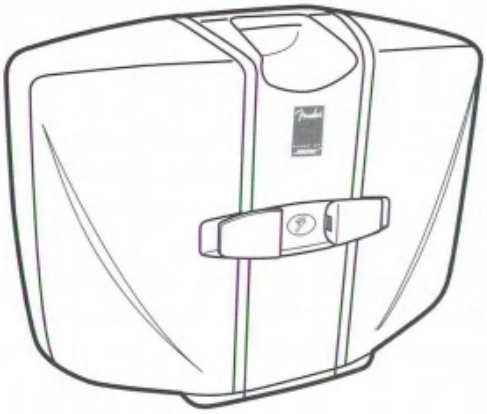
⚠ 警告	⃠	●<本製品>を分解したり改造しないでください。破損や火災の原因となります。
	●	●熱器具や白熱灯の近く、直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。
	⃠	●この製品は、一般屋内用器具です。落下、脱落、焼損、火傷、火災、感電、腐食、変形などの原因となりますので、以下の場所ではご使用にならないでください。 ・振動や衝撃の影響を受けるところ ・腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響を受けるところ ・サウナ風呂などの温度が高くなるところ ・湿度の高いところ
	●	●シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品やクレンザーなどは、変色や傷を付ける原因となりますので使用しないでください。
	電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	⚠	●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
	⃠	●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
		●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	⃠	●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。 ●この機器の上に、ろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。
	分解禁止	●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	⃠	●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

⚠注意		●スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業時のけがや事故には十分ご注意ください。
		●長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
		●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。
		●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
		●取付金具をご使用になる場合は、ご使用になるスピーカーに対応しているボーズ社製の金具をご使用ください。他メーカーの金具や、対応外の金具を使用するとスピーカーの破損や落下のおそれがあります。
		●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 ●電源コード、ACアダプターを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 ●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。
		●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。 **電池を使用する機器のみ** ●電池を機器内に挿入する場合、電池の向きに注意していれてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
		●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●お手入れ際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 ●万一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
		●５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。
		●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
		●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
		●当該商品は精密機器ですので、落下等により衝撃が加わった場合、あるいは水に濡れたりした場合、内部の部品が損傷し、音質変化や故障の原因となります。
		●湿度や湿度が異常に高い場所には置かないようにしてください。

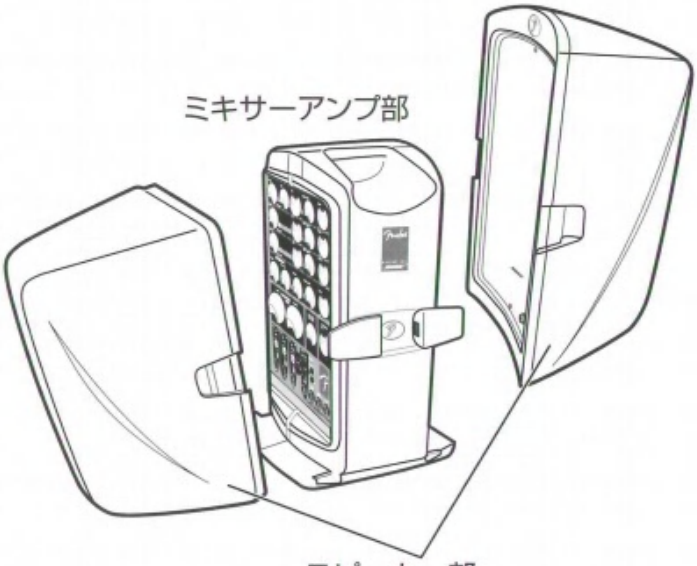
スピーカーの防磁について

このスピーカーは、防磁処理が施されていませんので、テレビやモニターなどに近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーをさらにテレビから離してご使用ください。

内容物

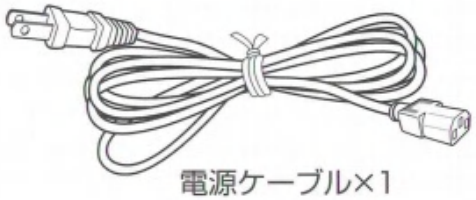


本体×1

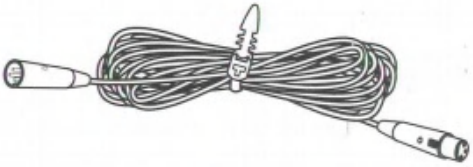


ミキサーアンプ部

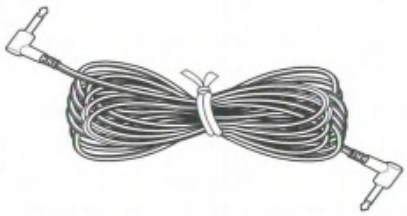
スピーカー部



電源ケーブル×1



マイクケーブル（6m）×1

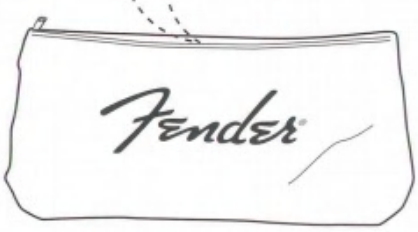


スピーカーケーブル（9m）×2

マイク×1

マイクホルダー×1

操作シート×4



標準アクセサリー収納バック×1

※背面の収納ボックスに入っています。

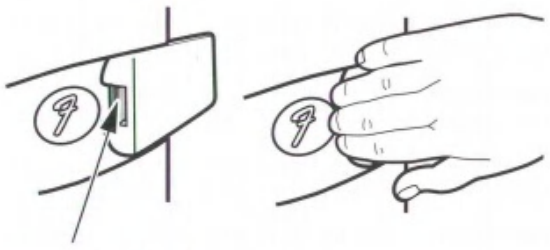
収納ボックスの開け方

レバーを下に押し下げて、手前に引くとふたが開きます。

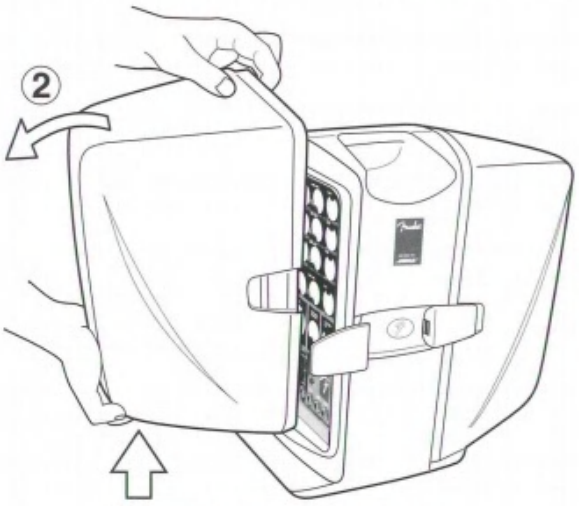
スピーカーの取り外し、しまい方

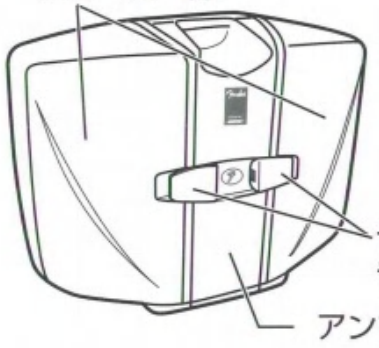
スピーカーの取り外し方

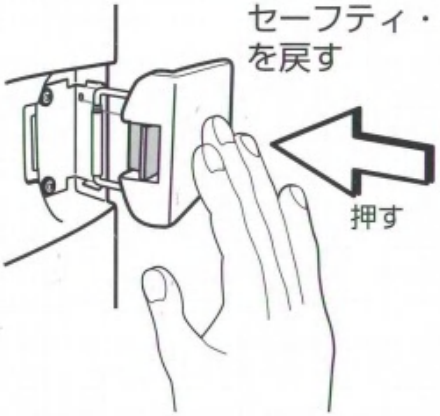
セーフティ・ラッチを外す



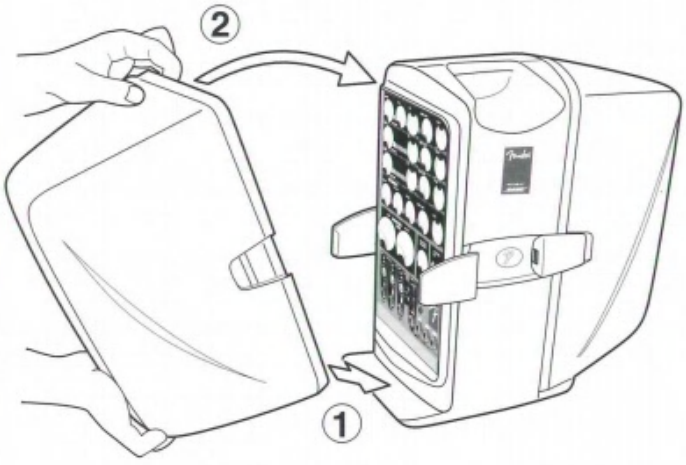
指で引きあげる

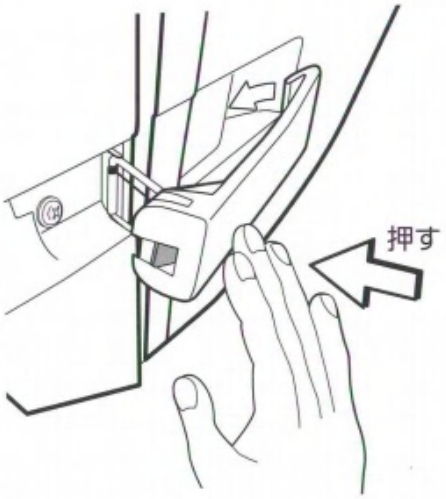






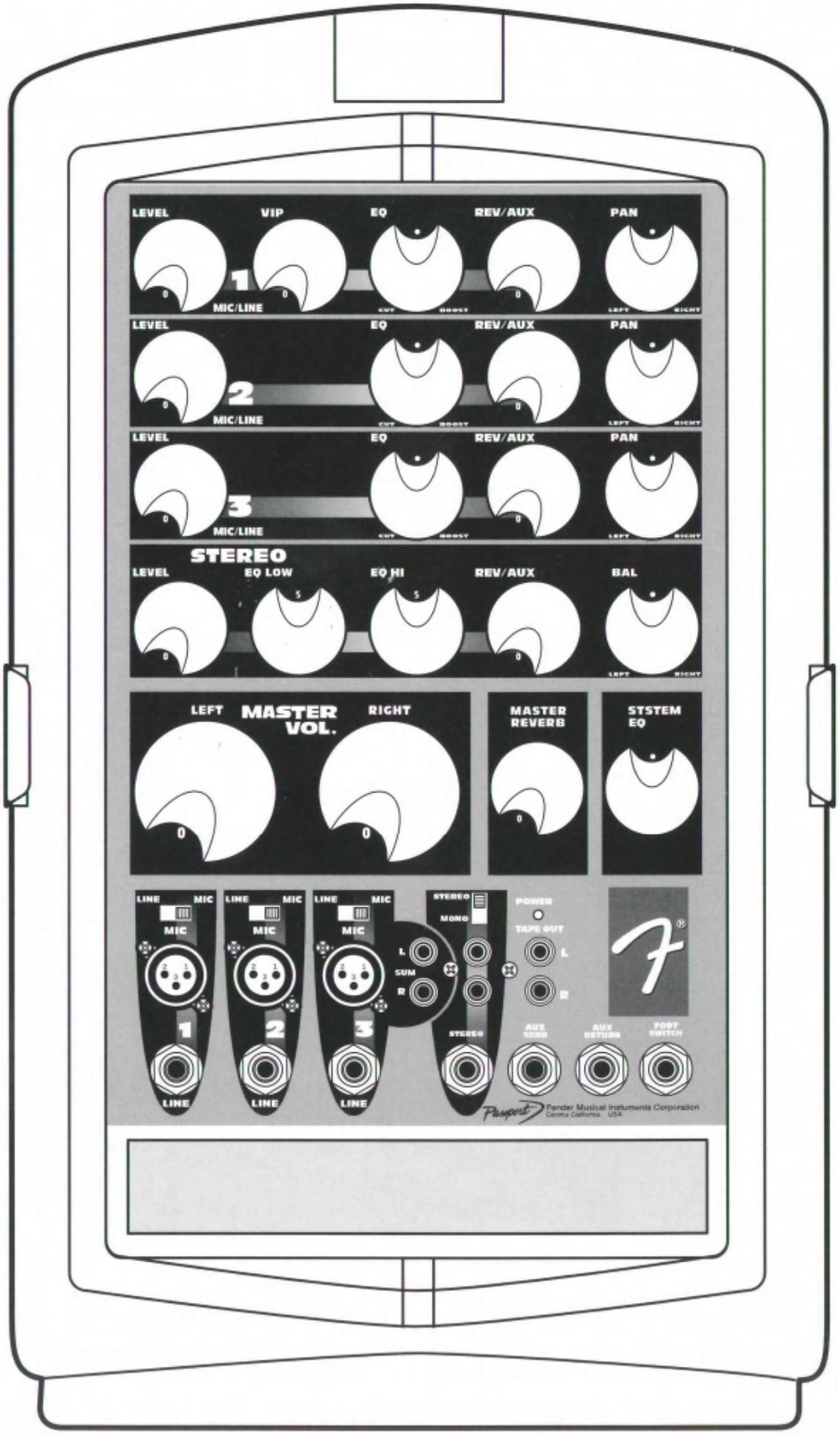
スピーカーのしまい方





つまみの基本位置

すべてのつまみを基本の位置に合わせてください。



設置について

⚠ 注意

ミキサーアンプ部からスピーカーまでの距離は付属の9mのスピーカーケーブルが届く範囲で設置してください。

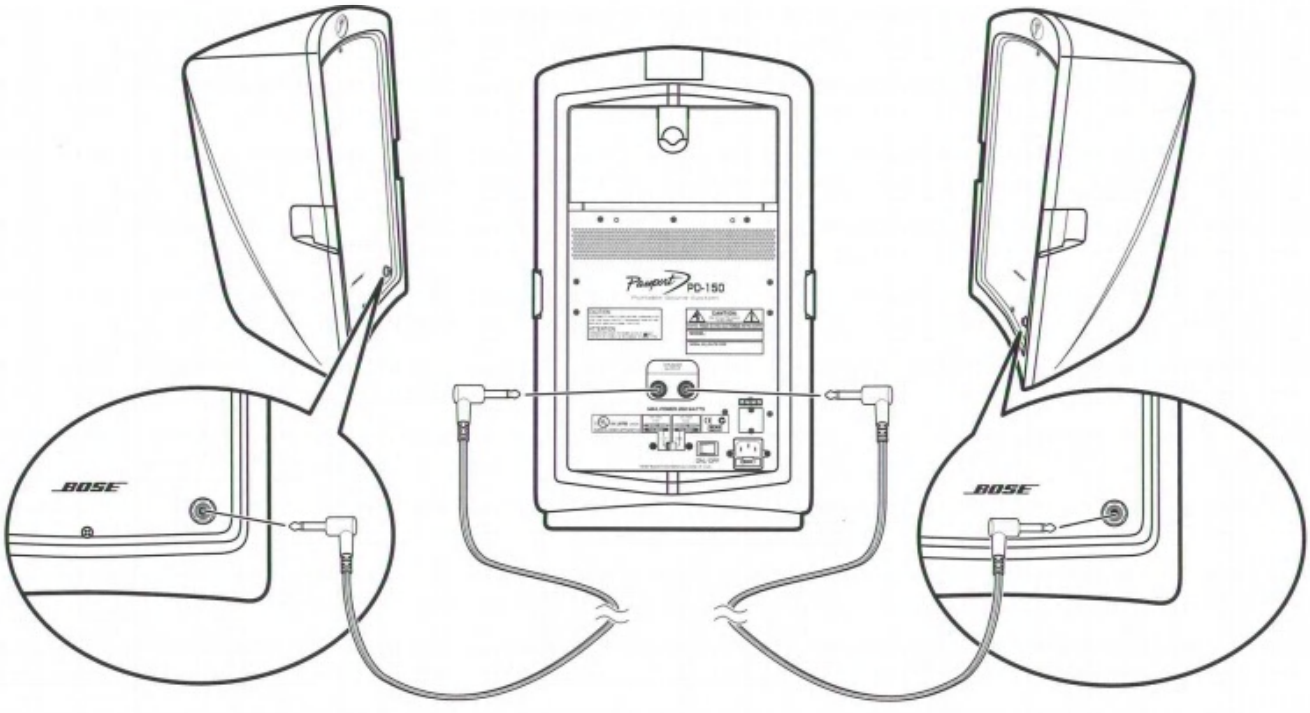
●本機の設置場所

音響システムを設置する場合の本機の設置場所は音響システムの効果がよく分かる場所が理想です。現場で調整が必要ない場合は、ケーブルの長さがゆるす範囲でもっとも便利な場所に設置してください。このときケーブルに人が引っ掛かったり、つまづくことがないようにケーブル類はすべて布粘着テープなどでしっかり固定してください。

スピーカーとの接続

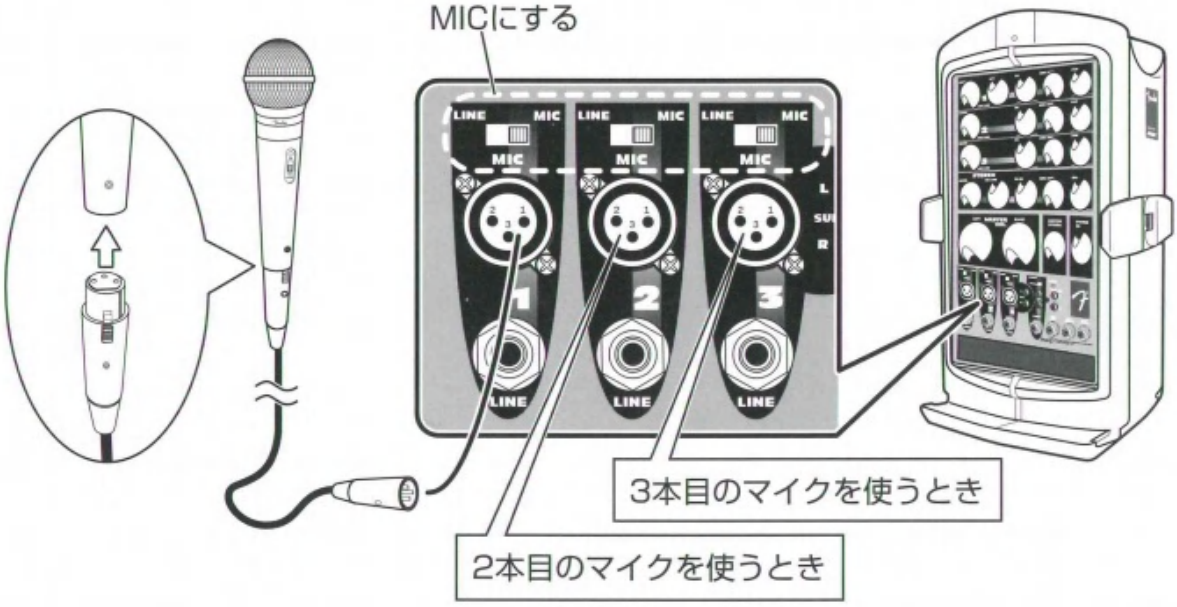
⚠ 注意

電源ケーブルはすべての結線が済むまで接続しないでください。

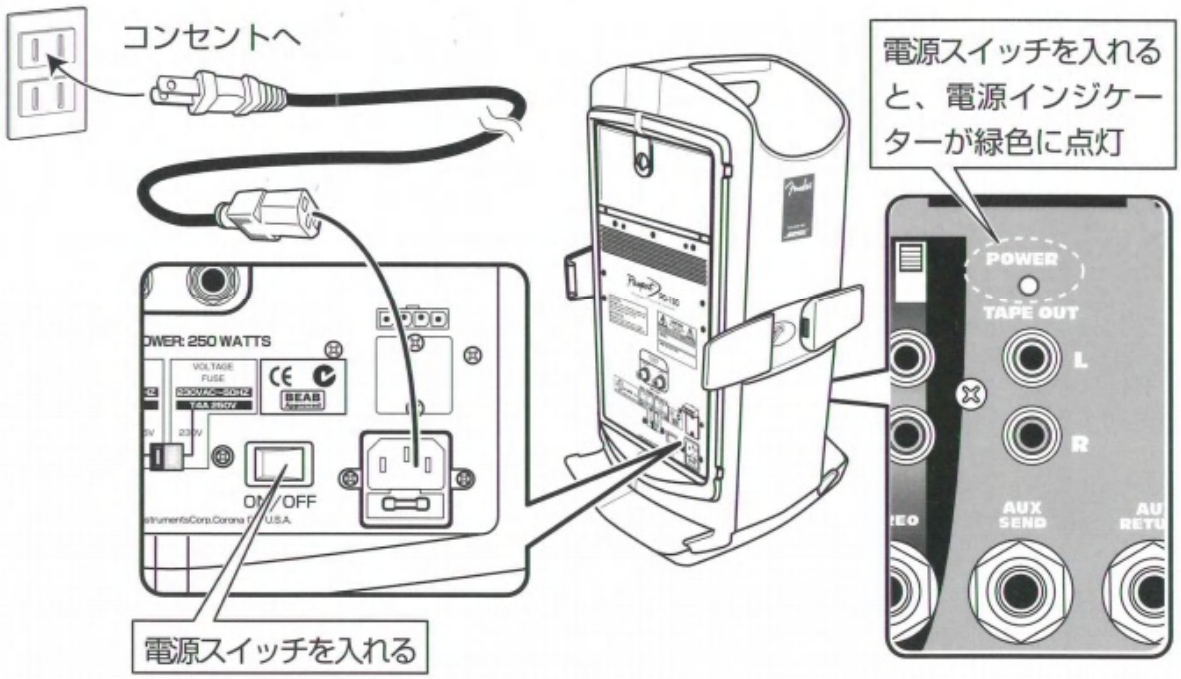


マイクで話す

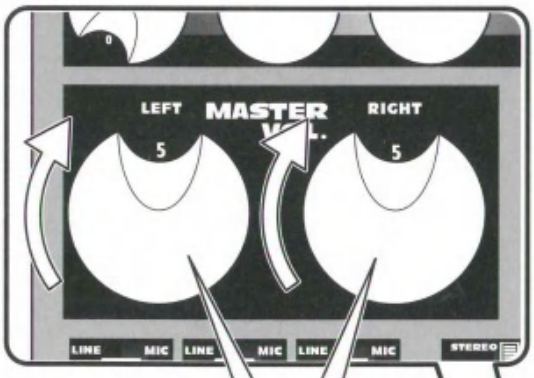
1


MICにする
LINE
MIC
1
2
3
3本目のマイクを使うとき
2本目のマイクを使うとき

2


コンセントへ
電源スイッチを入れると、電源インジケーターが緑色に点灯
POWER
TAPE OUT
L
R
AUX SEND
ON/OFF
電源スイッチを入れる

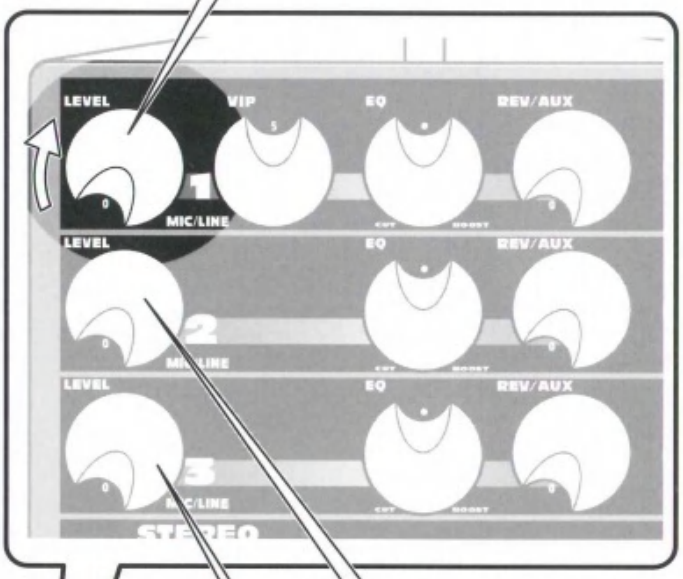
3



MASTER VOL.（マスターボリューム/主音量）を5に合わせる

4

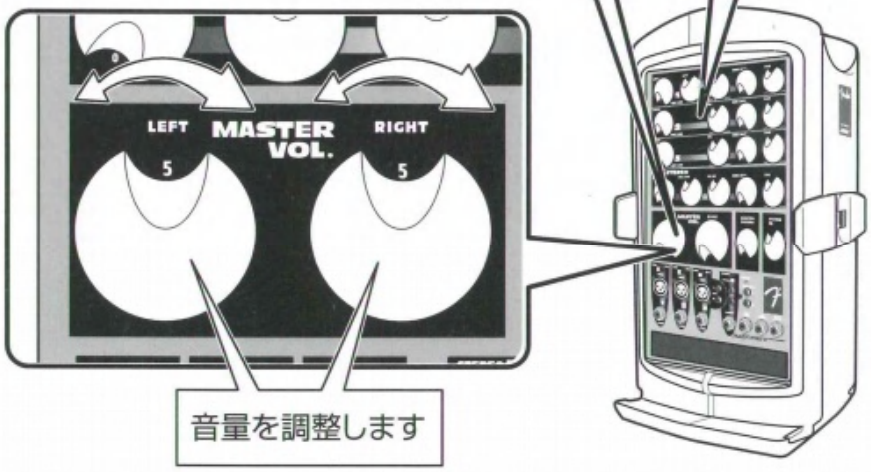
必要な音量が出るまで時計方向に回します



2本目のマイクを使うとき

3本目のマイクを使うとき

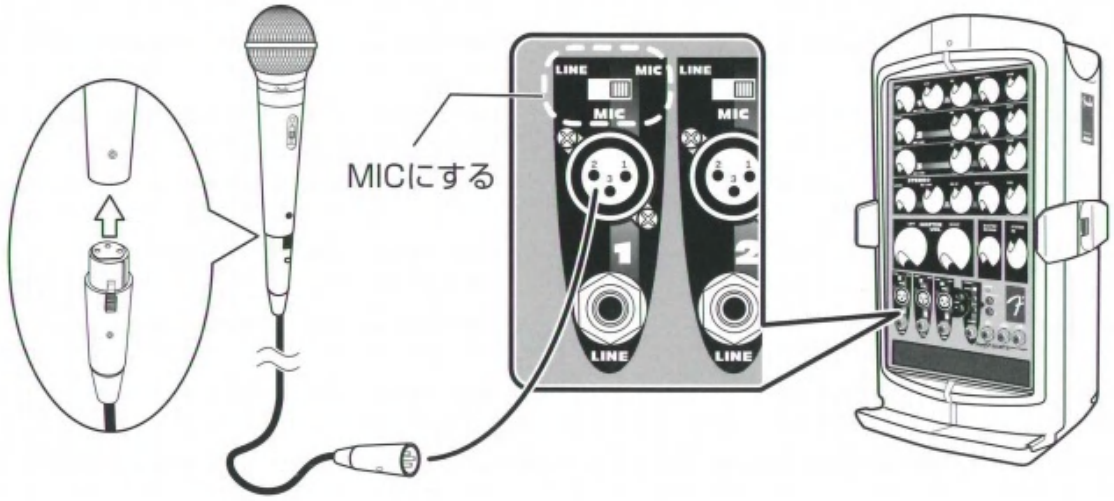
5



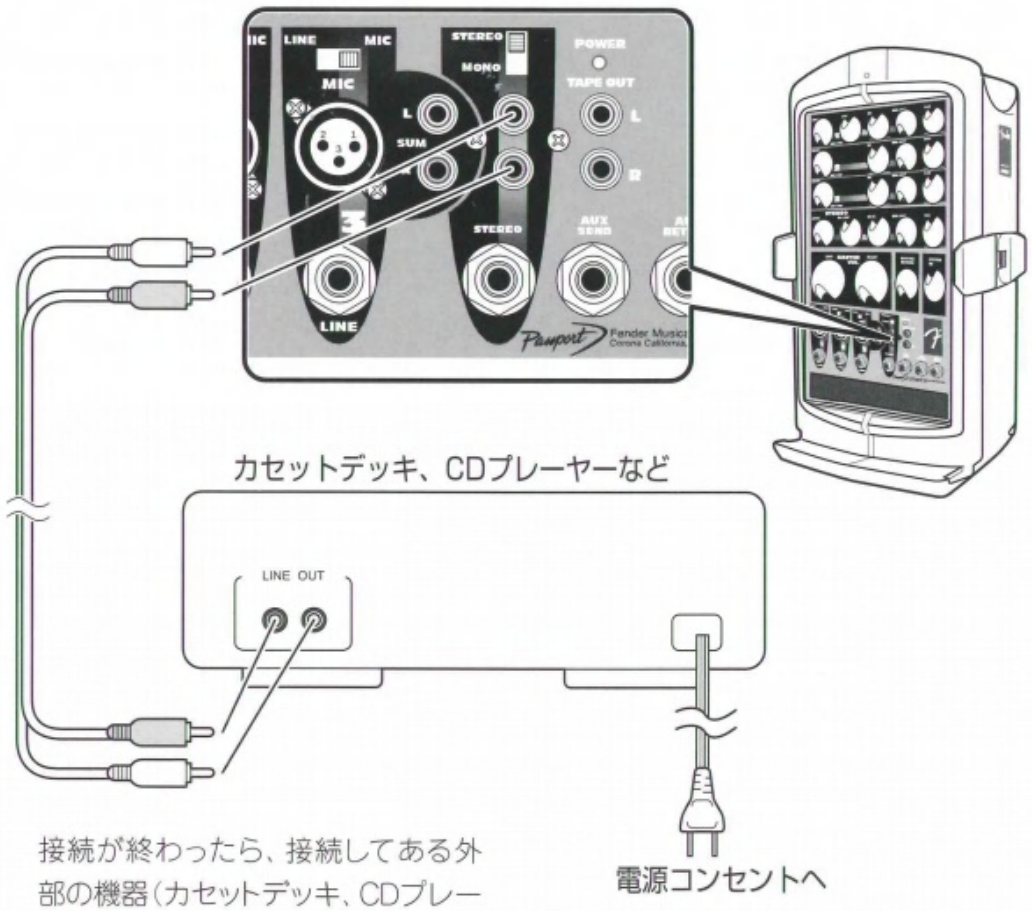
音量を調整します

音楽を聴きながら、マイクで話す

1



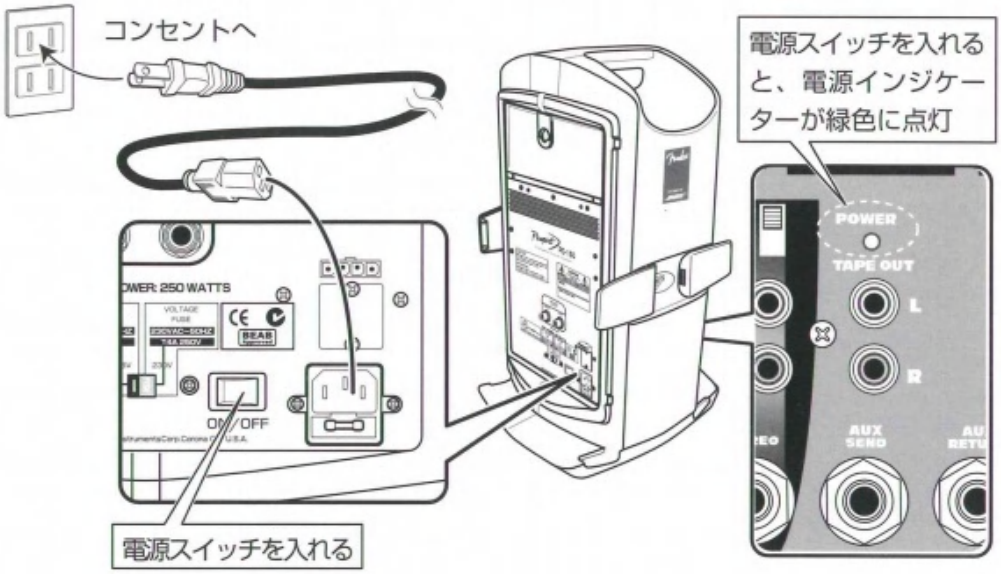
2



接続が終わったら、接続してある外部の機器（カセットデッキ、CDプレーヤーなど）の電源を先に入れます。

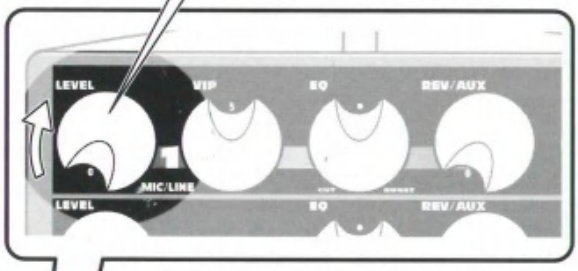
電源コンセントへ

3

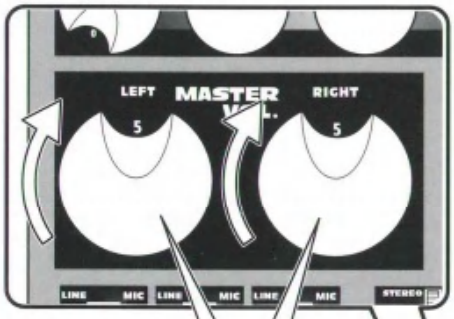


5

必要な音量が出るまで時計方向に回します

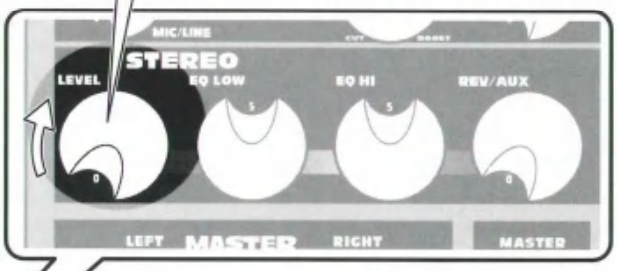


4

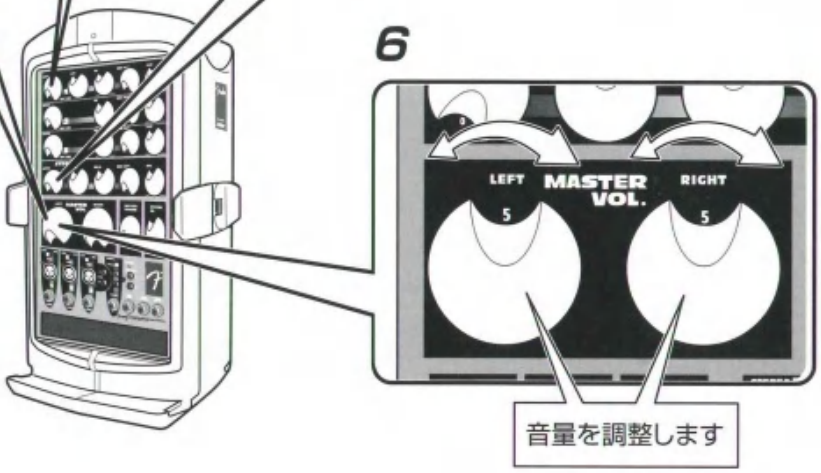


MASTER VOL.（マスターボリューム/主音量）を5に合わせる

必要な音量が出るまで時計方向に回します



6



音量を調整します

●電源を切るときの注意

電源を切るときは、電源を入れるときとは逆に本機の電源を先に切ります。

本機の電源を切ってから接続してある外部の機器の電源を切ります。

その他の便利な機能

EQ…入力端子ごとの音質コントロール

つまみを時計方向に回すと高域が強調されます。反時計方向に回すと低域が強調されます。
※ステレオ入力部分（カセットデッキや、CDプレーヤーを接続する部分）だけは、低域の量と高域の量を独立して調整できます。

PAN…入左右に音を振り分ける

このつまみを時計方向に回しきると右チャンネルにだけ信号が送られ、反時計方向に回しきると左チャンネルにだけ信号が送られます。
中央に合わせると左右へ同量の信号が送られます。

MASTER REVERB,REV/AUX…リバーブをかける

リバーブとは、音が響いているように聴こえる機能です。エコーと呼ぶ場合もあります。
リバーブの調整は2ヶ所で調整します。

1. 普通にマイクを使用する時のように準備します。
2. 半分より右に回しておきます。このつまみでリバーブの量を決めます。右に回せば回すほど響きが多くなります。
3. 徐々に時計方向に回して、リバーブプロセッサーに送る音量を大きくしていきます。このつまみで元の音と響いた音の割り合いを決めます。

SYSTEM EQ…システム全体の音質コントロール

VIP…音声入力優先システム

MIC1入力から、つまみで設定してあるレベルより大きな信号を入力すると、他のすべてのチャンネルの音量が自動的に小さくなります。この機能は、MIC1入力のマイク入力ボリュームの設定に関係なくMIC1入力に入力する信号の長さとレベル、VIPつまみの設定にもとづいて動作します。通常はMIC1入力信号がなくなると他のすべての入力信号は約4秒で元に戻ります。
MIC1入力レベルが高い感度に設定されている場合は、意図的に反応を遅らせています。これは、話し手が考え込んだり、効果をねらって「間」をとったときに、他の入力信号が元のレベルに戻ってしまうことを防ぐためです。
※VIPつまみの設定を高感度にすると、スピーカーからの音にマイクが反応して不用意に高感度にしないように気をつけて設定してください。
VIPつまみを時計方向に回すほど感度が上がります。VIPシステムを使用しない場合は、つまみを反時計方向に回しきっておいてください。

BAL…システムの左右の音量のバランス調整

信号入出力端子について ※エレキギターの接続については15ページ参照

●MIC/LINE1、MIC/LINE2：XLRコネクター(平衡型)、1/4インチステレオ標準ジャック(TRS平衡型)

・XLRコネクター(平衡型)

2番ピン・・・HOT、3番ピン・・・COLD、1番ピン・・・グラウンドの極性です。低インピーダンスのマイクなどを接続します。

・1/4インチステレオ標準ジャック(TRS平衡型)　※エレキギターの接続はできません。

TRS(チップ／先端・・・HOT、リング・・・COLD、スリーブ・・・グラウンド)ステレオ標準プラグ楽器のプラグなどを接続します。また、高インピーダンスマイク、キーボード、ドラムマシンなどのラインレベル信号を接続します。この端子は平衡型(バランス)、非平衡型(アンバランス)どちらのケーブルも使用できます。

●MIC/LINE3：XLRコネクター(平衡型)、1/4インチステレオ標準ジャック(平衡型)、RCAピン端子

・XLRコネクター(平衡型)

2番ピン・・・HOT、3番ピン・・・COLD、1番ピン・・・グラウンドの極性です。低インピーダンスのマイクなどを接続します。

・1/4インチステレオ標準ジャック(TRS平衡型)　※エレキギターの接続はできません。

TRS(チップ／先端・・・HOT、リング・・・COLD、スリーブ・・・グラウンド)ステレオ標準プラグ楽器のプラグなどを接続します。また、高インピーダンスマイク、キーボード、ドラムマシンなどのラインレベル信号を接続します。この端子は平衡型(バランス)、非平衡型(アンバランス)どちらのケーブルも使用できます。

・RCAピン端子

ステレオ入力時でも自動的にモノラルに合成します。この端子はMIC/LINE切り替えスイッチの設定に影響されません。

●STEREO：RCAピン端子、1/4インチ標準ステレオジャック

・RCAピン端子

カセットデッキやCDプレーヤーなどの機器を接続するための端子です。ステレオ入力する場合はSTEREO/MONO切り替えスイッチをSTEREOにあわせます。この端子の入力感度はLINEレベルに固定されています。STEREO/MONO切り替えスイッチをMONOにあわせるとモノラル信号に合成できます。

・1/4インチステレオ標準ジャック(TRS平衡型)

カセットデッキやCDプレーヤーなどの機器を接続するための端子です。このジャックはTRS(チップ／先端・・・左ch、リング・・・右ch、スリーブ・・・グラウンド)ステレオ標準プラグを差し込みます。

●TAPE OUT・・・・・・RCAピン端子

カセットデッキやMDレコーダーなどの録音する機器を接続して、ミックスした信号を録音することができます。この端子から出る信号は入力レベルコントロール、EQ、リバーブなどの設定は反映されますが、マスターボリュームで変化しない信号です。

●AUX SEND/AUX RETURN

・AUX SEND・・・・・1/4インチステレオ標準ジャック(TRS平衡型)

このジャックはTRS(チップ／先端・・・左ch、リング・・・右ch、スリーブ・・・グラウンド)ステレオ標準プラグを差し込みます。この端子の出力を外部のイコライザーやリバーブなどのサウンドプロセッサーに接続します。

・AUX RETURN・・・1/4インチステレオ標準ジャック (TRS平衡型)

このジャックはTRS (チップ／先端・・・左ch、リング・・・右ch、スリーブ・・・グラウンド) ステレオ標準プラグを差し込みます。サウンドプロセッサーの出力をこの端子に接続します。また、この端子はマスターボリュームで調整するステレオ入力端子としても使用できます。

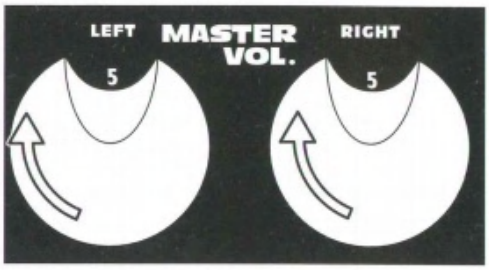
●FOOT SWITCH：1/4インチ標準ジャック(非平衡型)

この端子にフットスイッチを接続すると、足先で内部リバーブを効かなくすることができます。このスイッチはスイッチを入れるとチップ(先端)とスリーブがつながるような回路のものを使用します。スイッチを接続するためのケーブルは標準的なスピーカーケーブルやラインケーブルなどが使用できます。

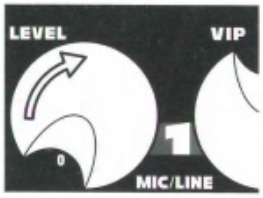
※弊社では現在この端子に接続するためのフットスイッチは用意しておりません。

調整について

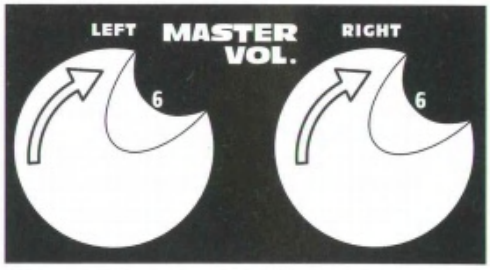
1. マスターボリュームを5まであげます。



2. マイクを実際の演奏と同じ位置、同じ使い方で使用します。
このときハウリングが起きる直前または、必要な音量になるまでマイク入力ボリュームをゆっくりあげてきます。



3. 協力者(アシスタント)に聴衆が入るエリア内を歩き回りながら、エリア全体に必要な音量が得られているか確認してもらいます。このとき音量をあげるには左右のマスターボリュームを時計方向に回します。



4. 使用目的(イベント内容)と必要性に応じてシステムEQを調整します。
方法は、イベント内容と同じタイプの録音を再生するか、アシスタントにマイクに向かって話してもらい、聴衆が入るエリアで実際に聞きながら調整します。
例えば、人の声の場合は、システムEQのつまみを時計方向に回し中域および高域を少し強めにし、低域を抑えるように設定すると本機の出力を効率良く使用することができます。それぞれのイベント内容に合わせてシステムEQを調整します。

本体のお手入れについて

キャビネットの汚れを落とす場合

●汚れやホコリは、柔らかい布で、から拭きをしてください。

●汚れがひどいときには、中性洗剤を薄めた水にやわらかい布を浸し、堅く絞ってから汚れを拭きとり、別の乾いたやわらかい布で、から拭きをしてください。

●シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

故障かな?と思ったら

症　状	処　置
電源が入らない	・背面の電源スイッチを操作しても電源が入らない場合は、電源の接続を確認してからやり直します。
	・全ての接続を取り外し、本機のヒューズを確認してください。背面の電源ケーブルを抜き、そのケーブルの差し込み口下部のヒューズフォルダーを引き抜きスペアーヒューズと交換します。本機が使用しているヒューズはT4A 250Vです。交換する場合は必ず定格とサイズが同じものを使用してください。
電源インジケーターが赤く点灯する、電源が入らない	・システムの過熱保護回路が働くと、電源インジケーターが赤く点灯します。この過熱保護回路は本機のアンプの温度が異常に高温になるか、冷却システム部分に問題があるとき働きます。このときは、本機の電源を切って数分間休ませてください。それでも赤く点灯しているようであれば、冷却システムに問題があることを示しています。本機の下部の冷却空気取込み口のフィルターを外してほこりが溜まっていないことを確認してください。アンプ内部の温度が適正になると保護回路が自動的に復帰します。十分温度が下がってから電源を入れ直してください。
片方のスピーカーからしか音が出ない	・コントロールの設定が正しいかどうか確認します。特にPANのつまみを左右どちらかに回しきっていないかを確認して下さい。次に、正常な方のスピーカーケーブルを取りはずし、音が出ない方のスピーカーに接続します。これで音が出る場合はスピーカーケーブルに問題があります。修理または、交換して下さい。

●エレキギターは直接接続できません。

エレキギターからの出力をフォンケーブルにより直接PD-150に入力すると、インピーダンスのミスマッチ(不整合)のために、ノイズやハムを誘発したり、ギターの機能(出力、音質、音量調整、音質調整)に支障をきたす場合があります(この場合、ギターそのものに悪影響を与えることはありません)。

●PD-150に、エレキギターを接続する方法について

ギターの出力とPD-150の入力の間に、インピーダンスマッチングを行うための機器または、エレキギター用のプリアンプ(ギターアンプ)等をご使用ください。なお、マイク内蔵型のアコースティックギター(通称エレアコ)の接続は問題ありません。

故障の場合のお問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせは、ボーズサービスセンター　☎045-979-0821
製品等のお問い合わせは、ボーズ株式会社、インフォメーションセンター　☎03-5489-0955
までご連絡ください。

仕　様

●総合

外形寸法	610(W)×460(H)×254(D)mm
質量	11.8kg

●スピーカー部

外形寸法	247(W)×440(H)×240(D)mm
質量	3.3kg

●ミキサー/アンプ部

周波数特性	20Hz～40KHz（±1dB）(送信出力) 30Hz～30KHz(±1dB)(スピーカー出力、プロセッサしきい値を超えている場合)
歪率	<0.1%、20Hz～20Hz、定格から-1dB下げた出力にて
システムSN比	>80dB @ 1W、Aウェイト
スピーカー出力	75W/ch連続平均出力、8Ω、両チャンネルを全高調波歪率<1%で駆動
入力インピーダンス (チャンネル1-2-3 XLRおよび1/4インチ)	"Mic"位置：2KΩ "Line"位置：66KΩ
入力インピーダンス (フォノ入力およびステレオチャンネル1/4インチ)	78KΩ
最大入力レベル	"Mic"：-7dBu ライン：30dBu ステレオ：26dBu
入力インピーダンス (AUX RETURNステレオ1/4インチ)	47KΩ
ヒューズの種類	T4A、250V
外形寸法	254(W)×460(H)×298.5(D)mm
質量	5.2kg
●マイク	ダイナミック・カージオイド、平衡型

※0dBuは0.775V(RMS)を基準とする。

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

BOSE
Better sound through research

ボーズ株式会社

http://www.bose.co.jp/

〒150-0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷ＹＴビル　ＴＥＬ03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1221
03・11-0.25K・C・1 (I-M)